

笑顔あふれる学校

この4月1日に大森第六中学校に着任いたしました統括校長の菅野哲郎です。勝海舟の別邸跡地を校地とし、合唱曲「大地讃頌」を作詞された大木惇夫さんの作られた校歌をもつ歴史と伝統ある学校に勤められることを誇りに思うとともに身の引き締まる思いです。

近年は松尾廣文前校長先生、税所要章元校長先生が手掛けられたユネスコスクールとしてのESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）と、それに続くSDGs（持続可能な開発目標）を目指した教育活動に取り組まれてきました。その成果が生徒の行動変容に表れていると着任間もない私にも感じられます。

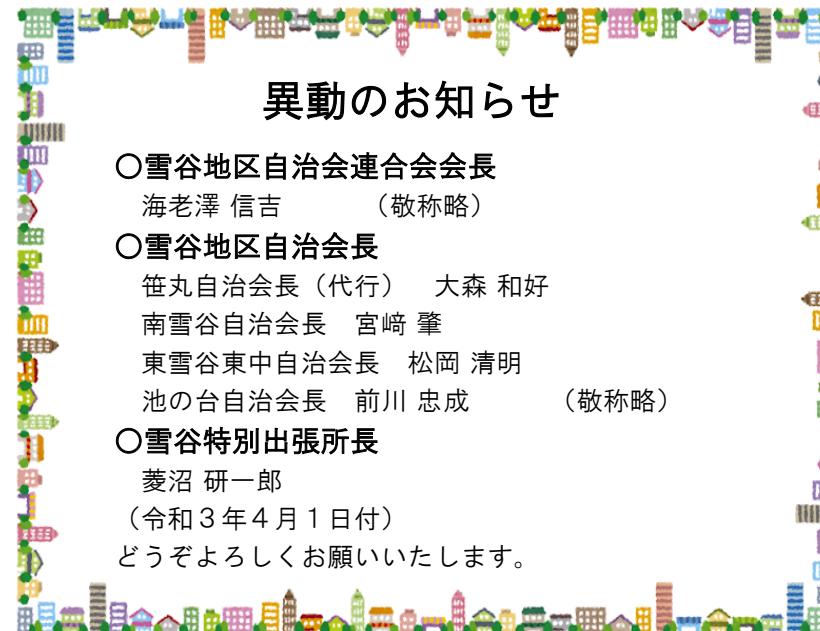
例えば、毎朝正門に立っていると、気持ちの良い挨拶を交わすこと。また、朝の読書活動では、すべての教室で静粛に読書に勤しんでいること。新入生歓迎会や新入生部活動説明会では、生徒会を中心に上級生による心のこもった運営がなされていることなどに感心しています。

また、保護者や地域の方々の多大なご協力により、生徒の活動を支援いただいていることも、地域に貢献したいという生徒の心を育てていると感じます。

持続可能な社会の担い手として求められる、自ら考え判断し行動する力を生徒に育むために、そして生徒の笑顔溢れる学校にするために、大森第六中学校の教育をさらに充実発展させるべく、微力ながら尽力してまいります。

皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

（大森第六中学校統括校長・菅野 哲郎）



異動のお知らせ

○雪谷地区自治会連合会会長

海老澤 信吉 (敬称略)

○雪谷地区自治会長

笹丸自治会長（代行） 大森 和好

南雪谷自治会長 宮崎 肇

東雪谷東中自治会長 松岡 清明

池の台自治会長 前川 忠成 (敬称略)

○雪谷特別出張所長

菱沼 研一郎

（令和3年4月1日付）

どうぞよろしくお願ひいたします。

7月は「社会を明るくする運動」強化月間です

○社会を明るくする運動とは

犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための運動です。

○保護司とは

保護司は犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える非常勤・無償の国家公務員です。保護観察官と協働して保護観察に当たるほか、犯罪や非行をした人が社会復帰を果たしたときにスムーズに社会生活を営めるよう、釈放後の住居や就業先などの調整や相談などを行っています。

○活動内容

保護司は、各地区の保護司会に加入し、研修、犯罪予防活動、関係機関との連絡調整、広報活動などの組織的な活動を行っています。

雪谷地区では例年7月に地区集会を行いますが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。

今年は雪谷特別出張所区民ギャラリーにて、7月1日から7月31日まで「社会を明るくする運動」の展示を行います。雪谷特別出張所にお越しの際は、ぜひご覧ください。

社会を明るくする運動、保護司の活動へのご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。



＊＊編集後記＊＊

日曜の朝、バス通りの細い電線に小鳥が一羽。すんだ美しい声で鳴っていました。何の鳥かなと聴いていると段々上手に鳴く様になり、シジュウカラとはっきり判る様になりました。巣立ったばかりで、鳴く練習をしていたのですね。コロナ禍の中、小さな鳥の鳴き声に心が和み幸せな気持ちに。本紙にも猫のいる風景という一匹の猫との絆を結ぶことが出来た心温まる原稿をいただきました。ふれあい雪谷が皆様に少しでも癒し又お役に立てたら幸いです。

東中、秋山一雄さんの後任として4月から編集委員のお仲間に入れていただきました。宜しくお願ひします。

（東雪谷東中・小山 智恵子）

[編集委員]

笹丸・小久保 衡子／雪谷石川台・倉田 清子／南雪谷・河野 洋一郎／東雪谷東中・小山 智恵子／池の台・柏 三八子／小池・小山 憲生／上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷（創刊・平成2年12月20日）年4回発行
(1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行)

[発行日] 令和3年 さくら号 4月1日(通巻・第123号)発行

[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] ふれあい雪谷編集委員会

[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所

〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

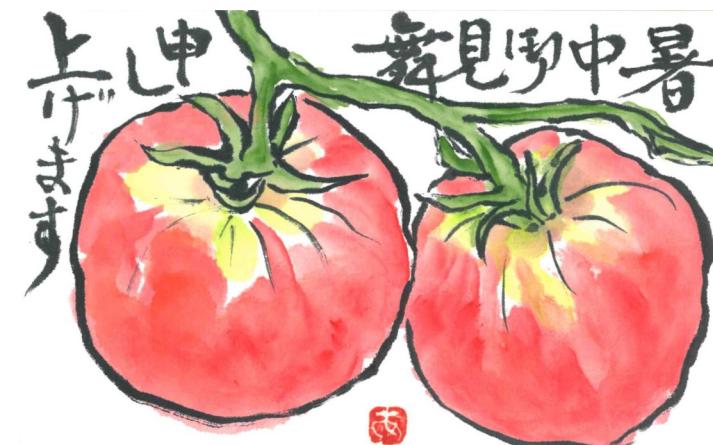
地域情報紙

ふれあい
雪谷

令和3年7月 あさがお号 通巻第123号

雪谷特別出張所管内（令和3年4月1日現在）

世帯数/31,299世帯（前年比66世帯減） 総人口/ 62,403人
男/29,945人・女/32,458人



絵手紙

上池上・海老澤 彰江さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



猫のいる風景

仕事で家を空けることがなくなる晩年は傍らに猫がいたらしいなど心の片隅で思っていた。

夜ジムに通っていた四・五年前、十時ごろ帰宅すると裏口の万年塚の上に猫がいた。秋刀魚の頭をやるとシューシュー威嚇された。それでも朝には魚が無くなっていた。半年後には南側の台所の床で朝と晩に餌をたべるようになっていた。

しかし、簡単になつたのではなく、時間をかけて関係を築いたのだった。

「星の王子さま」の王子と狐が絆を結んだやり方に倣って、始めは距離を置いて目の隅で眺め、夜裏口にやってきたら餌を与えることで根気強く距離を縮めた。すると狐と同様、猫にとって大勢の中の一人だった私が世界でたった一人の存在となり、私にとっても猫は特別な存在となった。

全身真っ黒な毛、目はオリーブグリーンの警戒心の強い雌猫。五歳くらい。「クロ」と名づけた。「クロ」ではなく「ノア」など二語の別の名前で呼んでも「ニャー」と返すが、三語で呼ぶと知らんぷりする。

最近は台所の網戸を自分で開けることを覚えた。出でいくときは開けてもらうまで待っている。撫でられるのは大好きだが、抱っこされるのは嫌い。まだ抱っこしたことがない。息子がいきなり「高い、高い」をしたら、仰天して自分で網戸を開けて出て行った。思わず大笑いしたことがあった。



夜はお隣の夜露を凌げる場所をねぐらにしている。雨の日や雪の日は、食べ終わると意を決したようにして出でていく。

猫は目につやがあると健康だとか。無論、食欲がなく餌を色々変えてみたこと、ダニがついて、毛を搔き分け肩甲骨の間に薬を滴下して治したことなど病気もする。ふだんひっそりとしているのに、爪を研ぎ、塀に飛び乗り、飛び移るクロは生気に満ちている。

この正月には一日中猫の姿がなく、事故か事件に巻き込まれたのではと思い、涙が止まらなくなつた。幸い翌朝には戻ってきたが、ペットロスだったようだ。

最近、不思議な感覚を覚えた。日本は勿論、イタリア、ギリシャなど外国の猫の写真で構成された古いウイークリー・カレンダーをめくっていると、どの猫からも以前には感じなかつた温もりや息遣いのような空気感が伝わってきた。一匹の猫と絆を結ぶことでその他大勢の見知らぬ猫たちを見る目が変わつたらしい。

台所にいる私の気配を感じつつ、そばの万年塚の上のプランターの中で安心してまどろむ野から来た猫は我が晩年の風景の一部となつていて。

(南雪谷・加藤 節子)

2回目の東京五輪…

私は雪谷に生まれてから戸籍どころか住民票を移したことがない生粋の雪谷っ子です。今はもうない“ひかり幼稚園”それから“雪谷小学校”“石川台中学校”と卒業して今は雪谷石川台自治会の一員、地元密着型人間です。小さい頃と比べると、かなり建物とか変わっているんですが石川台駅や雪ヶ谷八幡神社は変わってないんですね。神社でよく野球をしましたが今見ると狭い中でやつてたんだなっと思います。

さて、不要不急の外出を控えて1年、私もテレワークが増えて社会全体が変わってしまいましたね。もう会社帰りの一休も1年以上やってませんね。やっぱり気になるのは東京オリンピックの開催です。今回、聖火ランナーにエントリーして色々と自分をアピールしたエントリーシートを送ったけどあえなく落選。2回目の東京ですから思い入れは強いです。手塚自治会長はブルーインパルスを見たのは、昨年5月の荏原病院上空を飛んだのと、1回目の東京オリンピックで五輪を描いた時の2回だと自慢しておりました。小学校1年生だった私は眠い目を擦りながら“東洋の魔女”的勝を見た思い出が有ります。柔道無差別級で日本選手がヘーシングに決勝を負けたのも覚えてます。抑え込みだったかな。代々木のオリンピック村は我々が大学を出て会社の新人研修などでも使われてましたね。はやくコロナが終息して、東京オリンピックが開催され秋には旅行に行けるようになって欲しいですね。

(雪谷石川台・桜井 敬久)

「警察官」と「警官」

昨年8月31日付で、当地にご縁を頂き着任をいたしました唐澤です。折角の機会を頂戴いたしましたので、私が日頃から思い、そして署員にも伝えている「警察官」と「警官」について、ご紹介させて頂きます。

警察官の「警」とは、どの様な意味かご存じでしょうか?「いましめる」或いは、「注意する」といった意味となります。では「察」はどうでしょう?「さっする」「思いやる」という意味になります。つまり、警察官とは、違反や犯罪を「いましめ」、「注意する」だけではなく、相手の気持ちを「さっし」、「思いやる」ことが出来る存在であるということになります。一方、「警官」という言葉には「察」、つまり「さっする」がありません。「いましめ」「注意する」だけの存在ということになります。我々は決して「警官」であつてはならない。相手の気持ちを察することができる「警察官」であることにプライドを持とう。私は署員にこの様に語りかけ、署員もこれに応え、「警察官」という仕事に誇りを持って頑張っています。

たった一文字の違いかもしれません。しかし、その一文字こそ、私たちにとっては、最も大切な事なのです。

(田園調布警察署長・唐澤 肇)

卒寿を迎えて

私は今年の7月で91歳となります。毎朝公園でラジオ体操を行い、希望者で洗足池近くを回って朝食を取るのが習慣となっております。最近よく本当に90歳ですか?と聞かれることありますので、この機会に私の健康法をまとめてみました。

＝私の健康法（3項目）＝

（1）食事と人間関係には“好き嫌い”をしないこと！

私は男4人、女1人の5人兄弟の末弟として育ちました。毎日喧嘩や争いばかりでしたが、食事はみんな揃ったところで母親が声をかけて一斉に食べ始めます。差別ないこの習慣が今日影響していると思います。

さて人間関係ですが、私達家族は満州（瀋陽市）からの引揚者として日本に帰ってきました。敗戦により180度変化する現地中国の日本人に対する国民感情を目にしながら唯頭を下げて静かに連絡船に乗り、帰国しました。この青年時代の経験から人間の複雑な感情の変化を勉強いたしました。戦争が人間関係を悪くする！私は悪い人はいないと常に思い、人間関係を大切にしております。

（2）人間は栄養を取る口腔管理が大切！

私は歯医者と内科を毎月受診しております。人間は口より栄養を補給しており、口腔の管理が非常に重要な役割をしております。医学の進歩により病気は“早期発見により”90%改善されると言われております。

（3）運動と発声（呼吸法）です。

運動は免疫力を高める効果があると言われております。そして運動と並行して呼吸法を実行すれば、更に良い効果が出てまいります。女性が長生きする原因是“おしゃべり”と言われておりますが、民謡、詩吟、カラオケ等声を出すことは重要なことです。

以上3項目を簡単に申し上げましたが、自分の生活リズムで継続することが肝要だと思います。参考にして頂ければ幸いです。

(小池・TK)



雪谷地区の表彰者

○令和3年春の叙勲 瑞宝単光章（消防功労）
綱嶋 弘招

（敬称略）

